

平成30年度
職業訓練

受講生募集

8/6(月)まで

ハロートレーニング!!

●6ヶ月訓練

●受講料無料

スキルを
身に付け
就職しましょう

ものづくり溶接科

定員
15名

溶接関連の職種への就職を目指します。

溶接は、正確さや強度だけでなく、仕上がりの美しさも要求される非常に繊細な作業です。イメージどおりの結果に仕上げられたときの達成感や満足感は、芸術製作に通じる面があり、最近では女性の活躍も増えてきています。また溶接技術は造船、土木建築、車両、機械など、あらゆる製造現場で活用されており、活躍できる領域が広いことも魅力の一つです。

information

想定される関連職種(仕事)

●溶接工 ●溶接施工管理 ●板金加工 ●プレス加工 など

受講することで習得できる資格

●ガス溶接技能講習 ●アーク溶接等の業務に係る特別教育 ●研削といしの取替え及び動力プレスの金型等の取付け又は調整の業務に係る特別教育

関連任意資格

●溶接技能者評価試験(TN-F、SN-2F・2V・2H、N-2F・2V等)

◇溶接工とは?

金属どうしを熱で溶かして接合する仕事です。様々な溶接方法があり、また溶接する材料についての知識も必要となります。

1 訓練内容

裏面をご覧ください。

2 訓練場所

静岡職業能力開発促進センター(ポリテクセンター静岡)
〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-35

3 訓練時間

平日 9:20~15:40 (月2回程度 16:35までとなります。)

4 費用

受講料は無料。ただしテキスト代 7,800円程度、保険料 4,800円(任意)、作業服、帽子及び安全靴等が必要になります。

5 就職率実績

93.3%です(平成30年1月末現在)

6 応募資格

ハローワークに求職申込をしており、ハローワークの所長が訓練の受講を必要と認めた方 など

7 申込先

住所を所管しているハローワーク

●訓練日程等

コース番号	09-A05
募集期間	7/2(月)~8/6(月)
選考日	8/9(木) 9:15~ 受付8:45~9:15
入所月	9月(次回は12月です)
訓練期間	9/4(火)~2/28(木)
訓練月数	6ヶ月

施設見学会

毎週水曜日

13:15~15:45

(受付13:00~13:15)

ご希望の方はお問い合わせ先まで
ご連絡ください。

ご参加お待ちしております!

受講を決める
ポイント

どんな人が受講に適していますか

- 手先が器用、粘り強い
- 特殊技能を習得したい
- 金属のモノづくりに興味がある

何を学べるのですか(主なものを記述)

- ステンレス、アルミニウム等の溶接
- 鉄鋼材の溶接
- 金属加工作業、板金プレス など

就職先
実績

東海造船運輸(株)(溶接工)、(株)東海ボデー(組立・溶接)
松下金属工業(株)(組立・溶接)、(株)パロン(組立・溶接) など

お問い合わせは

静岡職業能力開発促進センター(ポリテクセンター静岡) 訓練課
〒422-8033 静岡市駿河区登呂3丁目1-35
TEL054-285-7186 FAX054-285-5192

訓練概要

被覆アーク溶接作業

1ヶ月

被覆アーク溶接棒を用いて行う溶接で、すみ肉溶接、突合せ溶接等の各種技能・技術及び知識を習得します。

※昔から行われているアーク溶接で技能・技術が必要な溶接です。溶接に必要な設備等が他の溶接に比べ簡易です。



被覆アーク溶接

半自動アーク溶接作業

1ヶ月

一部自動化された溶接で、装置の使用法・保守点検を学び、各種溶接技能・技術及び知識を習得します。

※安全性が高く、作業効率が良いため、現在では主流の溶接方法です。



半自動炭酸ガスアーク溶接

TIG溶接作業

1ヶ月

ステンレス鋼・アルミニウム合金材のTIG溶接に関する技能・技術及び知識を習得します。

※車のマフラーや台所の流しなど、薄い板に適した溶接です。溶接結果の信頼性が高く、鋼・ステンレス・アルミニウムなど様々な材料の溶接が可能です。



TIG溶接

工作基本作業

1ヶ月

簡単な図面の読み方及び工作法（ヤスリ、けがき、ボール盤作業等）に関する技能・技術及び知識を習得します。また、ガス溶接・切断作業に関する技能・技術を習得します。

※やすりがけ、穴あけなどの工作基本作業は、溶接作業とともに良く行われる作業です。



ガス切断作業

機械板金・動力プレス作業

1ヶ月

機械板金（プレス・プレスプレーキ・シャー等）作業に関する技能・技術及び知識を習得します。

※プレスプレーキによる曲げ加工、シャーリングによる切断、これらの取扱いを習得します。



プレスプレーキ作業

溶接施工・段取り作業

1ヶ月

被覆アーク溶接、半自動アーク溶接を用いた水圧容器の作成を通して施工管理・段取り作業に関する技能・知識を習得します。また、製品製作を通してものづくり一連の流れを確認します。

※「被覆アーク溶接・半自動アーク溶接作業」の応用課題となります。自分たちで、設計・材料切断・材料加工・溶接・組立・仕上げの一連の工程を習得します。

水圧試験



製品製作：材料棚

訓練生の声



溶接は初めてでしたので心配していましたが、親切に丁寧に指導していただきました。幅広く基礎的なことから教えてもらえたので、仕事の中でも応用できました。

資格取得等に関して、いろいろな情報や補講等があり、助かりました。